

新開発のワークフロー「EQUIOS for Truepress Jet520ZZ」を発表 ～シリーズのフラッグシップモデル「Truepress Jet520ZZ」に搭載、 印刷性能を最大限に発揮～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)は、印刷関連業界におけるトランスプロモのニーズに応えるバリエーブルプリンティングシステムのフラッグシップモデル「Truepress Jet520ZZ」のワークフローとして、「EQUIOS (イクオス) for Truepress Jet520ZZ」を開発しました。

近年、請求書やクレジットカードなどの利用明細書に、お勤めの情報や広告を組み合わせる印刷し郵送するトランスプロモが注目を集めています。また、顧客の性別、年齢、購買履歴などを基に、最適な情報をダイレクトメールで送付するダイレクトマーケティングが、販売促進・宣伝活動に一層多く取り入れられています。

当社は、2006年に発売し多くの出荷実績を築いてきたフルカラーバリエーブルプリンティングシステム「Truepress Jet520」の最上位機種として、高速印刷と高品位印刷を追求した「Truepress Jet520ZZ」をこのほど発表。その「Truepress Jet520ZZ」の持つパフォーマンスを最大限に発揮させ、操作性を大幅に向上させる新たなワークフローシステム「EQUIOS for Truepress Jet520ZZ」を開発し、同装置に搭載しました。オフセット印刷用CTPやインクジェット印刷によるPODなど、従来はデバイスごとに特化されたワークフローで運用されてきましたが、「EQUIOS Universal Workflow」の考え方の下、デバイスが異なる場合でも同一のユーザーインターフェースでの操作を可能とし、多彩なアプリケーションに対応。さらに、高速バリエーブル印刷を実現するさまざまな機能を装備するなど、新世代のワークフローシステムとなっています。

当社は、2010年10月3日(日)から6日(水)まで米国・シカゴで開催される印刷関連の展示会「GRAPH EXPO 2010」において、「EQUIOS for Truepress Jet520ZZ」を搭載した「Truepress Jet520ZZ」をご紹介します。そして今後も、「Truepress Jet520シリーズ」の持つさまざまな可能性を追求するとともに、変化する市場のニーズに合わせ、CTPおよびPODのリーディングカンパニーとして多彩なソリューションを提供し、全世界の印刷業界の発展に貢献していきます。

< EQUIOS for Truepress Jet520ZZの主な特長 >

スケーラブルロードバランスRIPシステム

高速ロール紙インクジェット印刷機、枚葉インクジェット印刷機、CTPなど、マルチタイプのエンジンを順次サポート。接続するデバイスのパフォーマンスを最大限に発揮できるよう、スケーラブルにRIP構成を変えることができます。また、RIPのコアに「Adobe® PDF Print Engine® 2」を採用。従来のPS、PDFのほか、次世代バリエーブルデータとして期待の高まる「PDF/VT」への対応も進めています。

スマートバリエブルデータ処理

バリエブルデータのPDFやPDF/VTに含まれる共通で再利用可能な部品の抽出、キャッシュ、最適化を自動処理。「Adobe® PDF Print Engine® 2」を使って、RIP、デバイス出力を高速で行います。ロードバランス処理との組み合わせにより、「Truepress Jet520ZZ」のパフォーマンスを引き出し、最適な印刷環境を実現します。

スマートインポジション

「Truepress Jet520ZZ」の活用範囲を広げるため、バリエブルデータに対応した面付け機能を搭載。トランスプロモ、ダイレクトメールだけでなく、ブック、新聞、バリエブル対応テキストブック、絵本など、多彩なアプリケーションに使用できます。また、ブック製作において後加工機で要求されるバーコード発生機能やアクセサリーを付加することも可能です。

EQUIOS CMS

あらかじめ、デバイスや用紙ごとに固有のICCプロファイルをデータベース化しているため、運用条件に最適なICCプロファイルを自動的に適用。また、オフセット印刷との色合わせを容易にする「Profileエディター機能」と、特色の調整やライブラリー化が可能な「Spotエディター機能」を、ビルトイン色合わせ機能として搭載しています。

バリエブル印刷機用検査装置「JetInspection」連携 (オプション)

バリエブルデータが確実に印刷できたかどうかを確認する「OCRバーコード検査」などの検査システムを、「Truepress Jet520ZZ」の装置本体にビルトイン。検査結果はEQUIOSのタッチパネルに表示されます。また、絵柄やテキストなどを含めたページ全体を、フルピクセルで、リアルタイムにデジタルデータと比較照合する検査機能についても、今後対応していく予定です。

セキュリティ

トランスプロモやダイレクトマーケティングなどの業務に不可欠な個人情報を、オペレーターごとの「UIのアクセス制限」により管理し、アクセスできる範囲を規定。ActiveDirectoryやWindows認証との連携も可能です。また、外部で作成されたユーザーアカウントを取り込んで設定することもできるため、ヒューマンエラーの低減や、WindowsシステムとEQUIOSによる一貫したユーザー管理を実現します。

* Adobe、Adobe PDF Print Engineは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。